

数列 $\{a_n\}$ の初項 a_1 から第 n 項 a_n までの和を S_n とするとき、

$$S_n = \frac{1}{3} - (n+2)a_n$$

を満たすとする。

- (1) a_1 の値は である。
- (2) $\frac{a_{n+1}}{a_n}$ を n の式で表すと $\frac{a_{n+1}}{a_n} =$ である。
- (3) $\frac{a_n}{a_1}$ を n の式で表すと $\frac{a_n}{a_1} =$ である。
- (4) 数列 $\{a_n\}$ の一般項は $a_n =$ である。
- (5) $\sum_{n=1}^{10} \frac{1}{a_n}$ の値は である。

(13 九州産大 情報・工 4)

ア	イ	ウ	エ	オ
$\frac{1}{12}$	$\frac{n+2}{n+4}$	$\frac{12}{(n+2)(n+3)}$	$\frac{1}{(n+2)(n+3)}$	720

解答は次のページにあります。

【チェック・チェック】

数列 $\{a_n\}$ とその和 $S_n = \sum_{k=1}^n a_k$ の関係についての問題です.

$$a_n = \begin{cases} S_n - S_{n-1} & (n \geq 2) \\ S_1 & (n = 1) \end{cases}$$

が基本です.

また, $\sum_{k=1}^n k^2$, $\sum_{k=1}^n k$, $\sum_{k=1}^n 1$ の公式は自由に使えるようにしておきましょう.

【解答】

(1) $a_1 = S_1 = \frac{1}{3} - 3a_1$ より

$$3a_1 = \frac{1}{3} \quad \therefore a_1 = \frac{1}{12} \quad \dots\dots(\text{答})$$

← $a_1 = S_1$

(2) $a_{n+1} = S_{n+1} - S_n$ より

$$\begin{aligned} a_{n+1} &= \left\{ \frac{1}{3} - (n+3)a_{n+1} \right\} - \left\{ \frac{1}{3} - (n+2)a_n \right\} \\ &= -(n+3)a_{n+1} + (n+2)a_n \end{aligned}$$

← $a_{n+1} = S_{n+1} - S_n$ ($n \geq 1$)

$$\therefore (n+4)a_{n+1} = (n+2)a_n$$

よって $\frac{a_{n+1}}{a_n} = \frac{n+2}{n+4}$ ……(答)

(3) (2) より $a_{n+1} = \frac{n+2}{n+4} a_n$ であり, これを繰り返し用いると

$$\begin{aligned} a_n &= \frac{n+1}{n+3} a_{n-1} \\ &= \frac{n+1}{n+3} \cdot \frac{n}{n+2} a_{n-2} \\ &= \dots \\ &= \frac{\cancel{n+1}}{n+3} \cdot \frac{n}{n+2} \cdot \frac{\cancel{n-1}}{\cancel{n+1}} \cdot \dots \cdot \frac{5}{8} \cdot \frac{4}{6} \cdot \frac{3}{5} a_1 \end{aligned}$$

← バタバタ約分されていく.

よって

$$\frac{a_n}{a_1} = \frac{12}{(n+2)(n+3)} \quad \dots\dots(\text{答})$$

● (2) の式は

$$\begin{aligned} (n+4)a_{n+1} &= (n+2)a_n \\ (n+4)(n+3)a_{n+1} &= (n+3)(n+2)a_n \end{aligned}$$

と変形される. $\{(n+3)(n+2)a_n\}$ は定数数列であり

$$\begin{aligned} (n+3)(n+2)a_n &= 4 \cdot 3a_1 \\ \therefore \frac{a_n}{a_1} &= \frac{12}{(n+2)(n+3)} \end{aligned}$$

(4) (1), (3) より

$$\begin{aligned} a_n &= \frac{12}{(n+2)(n+3)} \cdot \frac{1}{12} \\ &= \frac{1}{(n+2)(n+3)} \quad \dots\dots(\text{答}) \end{aligned}$$

(5) (4) より

$$\begin{aligned}\sum_{n=1}^{10} \frac{1}{a_n} &= \sum_{n=1}^{10} (n+2)(n+3) \\ &= \sum_{n=1}^{10} (n^2 + 5n + 6) \\ &= \frac{10 \cdot 11 \cdot 21}{6} + 5 \times \frac{10 \cdot 11}{2} + 6 \times 10 \\ &= 385 + 275 + 60 \\ &= \mathbf{720}\end{aligned}$$

← $\sum_{k=1}^n k^2, \sum_{k=1}^n k, \sum_{k=1}^n 1$
の公式

……(答)

- $\sum_{n=1}^{10} (5n+6)$ は等差数列 $\{5n+6\}$ の和であるから

$$\sum_{n=1}^{10} (5n+6) = \frac{10(11+56)}{2} = 5 \cdot 67 = 335$$

← 等差数列の和
 $= \frac{(\text{項数})(\text{初項} + \text{末項})}{2}$

として計算してもよい.

- さらに、 $\sum_{n=1}^{10} (n+2)(n+3)$ は連続積の和より

$$\begin{aligned}&\sum_{n=1}^{10} (n+2)(n+3) \\ &= \frac{1}{3} \sum_{n=1}^{10} \{(n+2)(n+3)(n+4) - (n+1)(n+2)(n+3)\} \\ &= \frac{1}{3} (12 \cdot 13 \cdot 14 - 2 \cdot 3 \cdot 4) \\ &= \frac{2 \cdot 3 \cdot 4}{3} (13 \cdot 7 - 1) \\ &= 720\end{aligned}$$

← $\sum(\text{連続積}) = \sum(\text{階差})$

として計算することもできる.